



母校・ふるさとへの思い

校長 福住 淳巳

先日、自動車会社の方が、本校での出前授業のご案内に来校されました。そのきっかけの一つとして伺ったのが、現在その営業所で働いている本校の卒業生の存在でした。その卒業生が「母校やふるさとの子どもたちのために、自分も何かしたい」と自ら申し出てくれたことから、今回の田滝小訪問につながったというのです。

仕事に追われる日々の中で、ふと自分が育った場所を思い出し、今度は「支える側」として母校やふるさとに関わろうとする気持ちに感動しました。決して特別なことをしなければならぬわけではなく、「何かできることはないか」と考えるその思いそのものが、母校やふるさとへの大切な愛情なのだと感じます。卒業してからも、こうして学校のことを思い出し、行動に移してくれることは、学校にとって何よりの励みです。子どもたちがこの学校で過ごした日々が、ただの「思い出」ではなく、その後の人生の中で、人を思いやり、社会に貢献しようとする心の土台になっているのだと教えてもらいました。

この話を、当時その子を知る教職員に伝えると、実に嬉しそうに在学中の様子を語ってくれました。「ああ、あの子はね…」と始まる昔話には、勉強や運動に一生懸命だったこと、友だちと笑い合っていた姿など、さまざまな表情がありました。何気ない日常の一コマが、今も先生方の心の中に生き続けているのです。

私たち教職員にとって、かかわった子どもたちが成長し、社会の中で立派に役立っていることを知ることは、何ものにも代えがたい喜びです。私自身も、かつて受け持った子どもが成長し、同じ学校でともに働く機会に恵まれたことがあります。教師として、これほど嬉しいことはありませんでした。教室で向かい合っていた子どもが、今度は同じ立場で子どもたちと向き合っている姿を見て、教育のつながりと重みを強く感じました。日々の教育活動は、すぐに成果が見えるものばかりではありませんが、このような折に、「教育の仕事の尊さ」や「続けることの意味」をあらためて実感します。

母校やふるさとを思い、行動する卒業生の姿。そして、それを温かく見守り、支えてきた地域と学校のつながり。これからも、本校がそのような場所であることを願っています。そして、子どもたち一人一人が、いつか「この学校で学んでよかった」「このふるさとが好きだ」と胸を張って言えるよう、これからも私たち教職員は教育にあたってまいります。

今後とも、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

<2月/3月の主な行事：変更となる場合もあります>

日	曜	2月の主な行事	日	曜	3月の主な行事
9	月	スクールカウンセラー来校	2	月	自動車職場体験学習
11	水	建国記念の日	10	火	県警音楽隊演奏会
13	金	プレジョブチャレ「夢わく Work フェスタ」	13	金	学年末懇談(希望者)
20	金	お別れ遠足	20	金	春分の日
23	月	天皇誕生日	24	火	卒業証書授与式
24	火	じゃがいも植え付け(予定)	25	水	修了式
26	木	町探検(1年)、社会科見学(3・4年) 自動車出前授業(5・6年)	26	木	学年末・始休業 ~4/7 離任式準備
27	金	第5回PTA役員会	27	金	離任式

~ 1月のアルバム ~

<丹原小との交流持久走大会>



<3学期始業式>



<生活科：凧あげ>



<体育：ティーボール>

